本別製材問題　焦点は税対策に

いったん解決の方向をとっていたかにみられていた本別町が買収した本別製材工場の土地問題は、このほど同工場の代表清算人である野崎武氏が町を相手どり釧路地方裁判所帯広支部に土地所有権移転登録抹消と謝罪広告請求の民事訴訟をおこすとともに、本別警察署に水元町長を詐欺、信用毀損、業務妨害の疑いで告訴するという異常な事態となりました。

本別製材としては公共用地として町に買ってもらえば免税措置がとられるものと思っていたところ、一千五百六十万円の土地代金に対して六百五十万円もの税金がとられたことが問題のはじまりで、町にダマされたとして春いらい町議会の問題となっていました。

町としてはなんとか免税の措置をとり池田税務署に交渉はしたものの、当時、本別製材の経営救済の形で土地を取得したので、具体的に道路や公園や公営住宅などの利用計画はなかったので単に町が取得しただけでは免税の対象にはならなかったもので、特に土地所買契約書に免税云々の字句もなく入っていないので責任はないとしています。

しかし本別製材側にすれば二四%の課税はショックで、これでは安い値段で町に売るのではなかったということになり、この売買契約や所有権移転登記はお互いにもついていくことは難しくなったようで、それでは本別製材としてはこのまま泣き寝入りするわけにはいかず、民事、刑事の双方からトコトン争っていく態勢をかまえた格好ですが、どちらにしても問題の焦点である税対策についてお互いになぜ当初に権利、義務をハッキリさせなかったのかといいに錯誤たったとして白紙に戻して税金が戻るようにはいますが、しかしそれでも町としても教委としても建設予定地の陸別小学校上予定地は陸中の移転改築の手は不適当なので新町あたりに変更するのならとして、ずれは三校の統合を想定して絶対反対の立場にあるわけではなく町民の大多数の意向にさからつてまで頑張る域との事前交渉はしなかつたが暗黙の諒解は得たものとしてことをすすめたも地区が要望している用地のので、小利別と上斗満とは変更がどうしても不可能だとする事情をなつとくするまでに至っていないようで、町民の大多数の意向にさからつてまで頑張る域との事前交渉はしなかつたが暗黙の諒解は得たものとしてことをすすめたも地区が要望している用地のので、小利別と上斗満とは変更がどうしても不可能だとする事情をなつとくするまでに至っていないようで、スンナリいつたのに中斗満地域との話し合いがカギとなりそうです。

全町へ署名運動

陸別中学校の建設促進

陸別中学校建設促進期成会（久保省三会長）では、全町の中学校統合による新築か、あるいは陸別中学校単独の危険校舎の改築かについても、国の補助はその部分だけが対象となるので、町議会での論議をよそにともかく一日も早く建設にとりかかってほしいとの賛成署名運動を全町の全世帯に向けておこなっていましたが、すでに八〇%の賛成署名をあつめており、全世帯からの集約をおわることにしています。

この署名運動は統合とか建設予定地の問題にはふれていないので、どの地域でも賛成し易い形をとっていますが、それにしても統合促進のテコ入れにはなりそうです。

というのは、陸別中学校舎の危険校舎による改築という町議会での論議をよそに古い校舎だけでブロック校舎や体育館などはおそらく補助の対象にはならないので、町財政の現状からはどうしても統合によつて全面的に三分の二の補助をうけるのでなければ、自己財源での建設はおよそ可能なうちに対三の割合で統合に向けて全面的に慎重を期しているのが現状です。

中斗満地区は四十五戸の小学校だけが統合にふみ切っていないために、町理事者、教育委員会側としては統合するならなんとか全町一本区の説得、諒解をまつてからと慎重を期しているのが現状です。

統合にテコ入れ

革新派が分裂？　陸別

ゴミ処理民営化で

ゴミ処理業務の民営委託をめぐつて地区労推薦の革新派議員七名の足なみが乱れてアワヤ分裂かと思わせた陸別町議会でのひと幕は、本会議に報告、本会議では同じ革新派の矢鋪正信・池田英治氏らが反対討論に立つたものの多数に押し切られて報告どおりに決定したもの。

地区労傘下の自治労（役場職員組合）としてはこうした現業部門の下請け化は住民サービスの低下、行政の無責任、人員合理化、組合の弱体化につながるものとして理事者側との交渉で民間委託には反対していくことになりそうな雲ゆき。

議会としては民営化で好結果をあげている町村を調査し、し尿処理だけでは困難だという業者の立場も考えて、これがプラスだとして多数決で陳情採択となつたものですが、人件費の増大にともなう行政の簡素化能率化も容易なものではないということです。

それにしてもお膝元の自治労に関する問題ともなれば、一板岩の地区労推薦議員のあいだにも意見の対立はさけられないものとみられます。

各町村でもお役所仕事の再検討が云々されているおりから、ひとつの話題。

池北三町浄化センターのし尿くみ取りだけでは経営がなり立たないので、町営のゴミ処理も合せて委託との陳情は厚生委員会に付託されましたが、委員会のメンバーは六名で委員長の林保治氏、副委員長の高橋誠氏をはじめ宮古秀、北村国義委員の四名が革新派で占めているのに、六名の全一致で陳情を採択としてと一部では、こうなれば小和別と上斗満だけが統合で作業をすすめて一日も早く新校舎の建設をはじめるべきで、あとで中斗満が入つてきても十九名程度の生徒だから増築の必要もないから〝見切り発車〟も止むを得ないとの意見も出ていますが、それにしても遠い学校が賛成で近くの学校が反対という変則的な統合が認められるかどうか、いまからでは明年度の国の文教予算にくい込めるかどうかは難しく、どちらにしても中斗満地域との話し合いがカギとなりそうです。

と困惑の状態。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
久　久保呉服店
足寄町　十五一四八

二十二名を表彰　足寄の文化の日

足寄町では十一月三日の文化の日に公民館で各分野の功労者の表彰式をおこないました。

式は富田助役の司会で、小林町長の式辞があつて、はじめに町条例により

▲木村平八氏（ラワン、永年農業団体役員、民生委員として貢献）

▲武士また幸蔵氏（南四区失明を克服して更生）

▲北野藤子氏（西喜登牛、地域の指導的活動）

▲小林準道氏（西三区、教育振興に二百万円の寄託）

▲進藤恒彦氏（帯広市、消防施設に百万円を寄託）

の表彰があり、つづいて

▲進藤恒彦氏に紺授褒賞

▲大塚正夫氏に行政管理庁長官表彰

▲飯取春雄氏に統計調査員として総理大臣表彰

▲三宅隆義氏に環境改善功労者として厚生大臣表彰

▲中央三区自治会納税部に社会保険庁長官の感謝状の伝達があり、ついで教育委員会からスポーツ賞は

▲村田恒候氏（ラワン教員）

▲今義雄氏（東二区公務員）

▲小野敏子氏（南六区新員）

▲竹本充氏（南五区高校生）スポーツ奨励賞として

▲足寄中学校剣道部（加藤和憲、富川浩、松井徳治今野俊一、林寛）

▲島田真由美（西小学校）

▲南辻敦子（同　）

▲山口是人（高校生）

のみなさんが表彰され、大滝議長と新津教育委員長から祝辞がありました。

住宅産業に奉仕する店
新築改築のときはご相談下さい
家具　建材　サッシ　住宅設備機械
有限会社　桜井家具建具店
足寄町本通り南3丁目　T　5－2362
アコーデオンカーテン　サッシ網戸
各種注文承ります
注文建具注文サッシ　製作部　足寄町西5区　T5－3315

冬物衣料を各産地から
沢山仕入れてきました
ただいま陳列を完了しました
皆様の御用命をお待ちしております
是非御来店下さい
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T五一二〇二二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T五一二四二一八

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野興復
足寄町駅通り　T　五一二五一二

自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　五一二六二六

畳きゆう車　葬儀仏具一式　花輪　生花

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T　二八五五

技術に生きる！
ビクター
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
有限会社　ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T5－2642
―あらゆる電気器具―

永平寺、総持寺、豊川稲荷、最乗寺参拝と北陸、飛騨、三河、東海道オールバスの旅
十勝地区曹洞宗有志寺では、明年三月二十七日から四月六日までデラックスな本山参拝と、飛騨高山、日本ライン下り、犬山城、明治村、箱根と見学し、帰路は東京ー告小牧間は豪華フェリーの旅を企画いたしました。ゼヒ、お誘い合せのうえご参加下さいますようご案内申しあげます。
費用　十二万円（本山供養料、宴会、写真代共）
申込金　五千円（団費充当）
人員　九十名　〆切　十二月十日
申込先　足寄町　総泉寺（T五一二一〇七）

◎ワイドでデラックスな内容の
新種保険発売！
六〇才まで約一億円（逓減方式）の家族保障
六五才以降八〇万円の終身年金（一〇年間の支払保証）で
各種年金と共に優雅な老後の生活を楽しもう！

◎多発する成人病予防に
三時間人間ドックのご案内
職員採用　男子三名　婦人三名
完全週休2日制実施
一、職種　各職種団体共済保険の取扱い
一、年令　25～60才位まで健康な方
一、給与　固定給七～八万円＋諸手当
一、各種社会保険、企業年金制度あり
希望者は履歴書ご持参の上ご来社下さい
足寄町三笠通り
協栄生命足寄営業所
T　五一四六五二